

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

10年、20年後を考えて自ら身を引く 安田 隆夫 (ドン・キホーテ創業者)

- 多くの経営者は組織の中で頭角を現して社長になりますが、私は 29 歳の創業時から今日までずっと経済者でした。ようやくつかんだ地位ではないんです。では、この規模の会社になったときに私はどうすべきか。10年、20年先のドン・キホーテを考えると「ここで身を引くべきだ」という答えしか出ないんです。これ以上会社に君臨すると会社の成長を阻害すると考えたのです。
- 長年トップの座にいと続けると、創業者への依存度が高くなり、創業者の顔ばかり見てお客さまの方を向かなくなります。本来、店の良し悪しはお客さまが判断するべきところ。お客さまより創業者を優先するようになれば、企業としてマイナスしかありません。
- 店舗運営は私のことなど気にせず社員自らがやっていましたが、戦略に関する部分は、私の顔色をうかがっている雰囲気を感じました。リスクを取るような重要な判断をしてきた場数は、私が桁違いに多い。たとえ部下に権限委譲をしたとしても、場数が違うので私に聞かざるを得ない。部下にしても、私に聞かないで失敗すると、「なぜ、おまえ聞かないんだ」と怒られかねません。私が引退しない限りそうなります。
- 次期CEOは、当社の理念である「源流」第1条「無私で真正直」を体現するポジションです。自ら理念を具現し、実行して示すことに全力を尽くしてほしい。(参考:「週刊ダイヤモンド」2015年7月4日号)

心・健康・環境について

害虫に備える (デング熱)

- 昨秋、日本を襲った「デング熱」。蚊が媒介する感染症のリスクを我々に突きつけた。恐ろしいのは蚊だけではない。セアカゴケグモやマダニなど、害虫対策は待ったなしだ。グローバル化で害虫は軽々と国境を越え、我々を襲い掛かろうとしている。
- 国立感染症研究所の昆虫医科学部の小林睦生・名誉所員は「熱が出ていない人を含め、年間 300~400 人のデング熱に感染した外国人が日本に入ってきているのではないかと推定している。今年 5 月の訪日外国人は単月で前年比 5 割増の 160 万人を超えた。その中には、インドネシアやタイ、フィリピンなどデング熱流行地域からの訪日客も多数含む。感染者が混じっていても不思議ではない。

(参考:「日経ビジネス」:2015年7月6日号)

ワンポイント経営アドバイス

人は時間があれば学ぶ

松本 晃 (カルビー代表取締役会長兼CEO)

- 社員に休みを与えても遊ぶだけだという人もいるかもしれないが、人は時間があれば何かしら学ぶ。ある人は勉強を、ある人は教養を身につけ、ある人は体力を増強し、ある人は家族サービスをする。そういう豊かな生活がその人間をリッチにし、次の新しい発想が生まれ、ひいては仕事に反映される。
- 仕事には、やらなくても良い仕事、やった方がいい仕事、やらなくてはいけない仕事の 3 つある。一番大切なことは、やらないといけない仕事から手をつけること。時間で評価していると、やらなくても良い仕事から手をつけて、仕事をやった気になっている人が多い。良い人材を引き留めるには、昔はお金を積むだけで良かったが、今は時間的、社会的な豊かさを社員に感じさせられるかどうかとも重要になっている。

(参考:「Wedge」2015年10月号)

古典に学ぶ

武士道の内容

(解説) ヨーロッパと日本の封建制と騎士道・武士道の歴史的な比較研究は、心をそそるものはあるけれども、それに詳細に立ち入ることは、本書の目的ではない。私がしようとしているのは、第一にわが武士道の起源と源泉、第二にその性格と教え、第三にその大衆に及ぼした感化、そして第四にその影響の継続性と永久性をのべることである。

(参考:佐藤金弘訳新渡戸稲造「武士道」:教文館)